

# 四日市市霞ヶ浦緑地新テニス場設計業務委託 公募型プロポーザル

## 審査結果について

本市では、昨年「四日市市スポーツ施設整備計画」（以下「整備計画」という。）において、大規模な大会に利用できるテニスコートの基本的な整備計画を策定しました。

今回、整備計画に基づいた機能や役割を十分に備えたテニス場の設計業務を委託する最適候補者を選定するために公募型プロポーザルを実施しました。

その結果、下記のとおり最適候補者を選定しましたので公表します。

### 記

#### 1 選定結果

最適候補者 株式会社大建設計 名古屋事務所

次点候補者 株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

#### 2 審査委員会委員の名簿（順不同・敬称略）

委員長	竹内 伝史	岐阜大学名誉教授
委員	加藤 彰一	三重大学大学院工学研究科建築学専攻教授
委員	大塚 俊幸	中部大学人文学部 歴史地理学科教授
委員	畠山 純之	四日市市教育委員会事務局理事（国体推進担当）
委員	栗田 さち子	四日市市健康福祉部理事兼社会福祉事務所長兼 こども未来部理事
委員	中村 竹雅	四日市市都市整備部次長兼建築指導課長
委員	稲垣 圭二	四日市市都市整備部次長兼市街地整備・公園課長

#### 3 審査委員会の日時

第1回（第1次審査）平成27年8月28日（金）14時30分～18時30分

第2回（第2次審査）平成27年9月16日（水）15時00分～20時00分

## 4 選考経緯

- (1) 平成27年8月6日に公募を行い、本プロポーザルの質問を8月14日を期限として受付け、8月12日、17日に四日市市役所ホームページにて回答を行った結果、同月21日までの参加申込期間に、4者から参加申込書類および技術提案書類を受理しました。
- (2) 参加申込者の参加資格要件について確認した結果、全者が資格要件を満たしており、第1回審査委員会において、提出された4者の技術提案書に対する書類審査並びに審議を実施し、全4者を第2次審査対象者としました。
- (3) 第2回審査委員会では、第2次審査対象者4者（全て匿名）による20分以内のプレゼンテーションと約15分間の質疑応答を実施し、その後、委員相互の意見交換に引き続き評価表への記入を行いました。その集計結果において最上位者である株式会社大建設計名古屋事務所を本業務の最適候補者とするについて審議し、最終的に全委員の総意として選定に至りました。

### ※技術提案書提出順

	商号(名称)
1	株式会社前野建築設計
2	株式会社大建設計 名古屋事務所
3	株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所
4	株式会社竹下一級建築士事務所 三重事務所

## 《講評》

本プロポーザルの審査は、学識経験者及び本市職員の合計7名で構成された四日市市スポーツ施設整備設計業務委託プロポーザル審査委員会において厳正かつ公正に行いました。

評価方法は、業務実績、業務実施体制、技術提案内容、取組意欲などの評価項目・基準に基づいた各委員による採点方式としました。

技術提案書では、建築計画の基本方針及び業務の実施体制に加え、以下に示す3つの特定テーマについて提案を求めました。

- ① 大規模な大会や地域レベルのスポーツ等の幅広い利用目的への対応について
- ② 霞ヶ浦緑地の地理条件(地盤・沿岸部等)への配慮について
- ③ 施設の機能性・安全性・ライフサイクルコスト・環境配慮・ユニバーサルデザインについて

技術提案は、各テーマの意図と整備計画の内容を十分に理解された上で、各者が有する多分野にわたる専門的知識を組み合わせることにより、各者の特徴が盛り込まれた提案でした。

審査方法は2段階方式で行い、第1次審査では参加申し込み者が5者以下であったため4者の参加資格を確認したのち、第2次審査のヒアリングを経て採点及び審議しました。

その結果、株式会社大建設計名古屋事務所と株式会社東畑建築事務所名古屋事務所が基本的な事項について十分な提案を行うとともに、担当技術者のコミュニケーション能力においても大変優れていました。この中でも、シンプルな構成と提案内容に実現性が高いと評価された株式会社大建設計名古屋事務所を委員の総意として最適候補者に選定しました。

最適候補者におかれましては、契約締結後には今後の厳しい設計業務の日程にも十分対応し、優れた設計案にまとめていただけるものと確信しています。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御応募いただいた参加者の皆様に敬意を表し、心より感謝いたします。

平成27年9月28日

四日市市スポーツ施設整備設計業務委託プロポーザル審査委員会  
委員長 竹内 伝史